

第3回新潟青陵学会学術集会

学術集会長 佐藤忠司

臨床から学び、 活かしていくこと

日 時 2010年11月6日(土) 9:45~17:00

会 場 新潟青陵大学

プログラム

■基調講演

「^{いのち}こころは生命の尊厳を伝える」
皆藤 章（京都大学 教育学研究科 教授・臨床心理士）

■シンポジウム

「臨床・福祉事例を支える研究業績の利用と構築」

■一般演題(ポスターセッション)

■ワークショップ(定員20名、当日受付)

「明日から使える臨床技術-褥瘡予防のための体圧分散方法-」

参加申込み

参加費：学会員、学生、大学院生 無料 非学会員 500円

※参加をご希望の方は、10月8日(金)までに、①～⑤の内容を明記の上、下記のメールアドレス宛にお申込み下さい。FAXまたは郵送でも受け付けております。

尚、一般演題発表申込をご希望の方は、8月31日(火)までにお申込み下さい。

- | |
|--|
| ①氏名 ②所属 ③参加区分(学会員 / 非学会員 / 学生・院生) |
| ④連絡先(住所・電話番号・メールアドレス) ⑤一般演題発表申込の有無(希望する / 希望しない) |

後援(申請中)

新潟県、新潟市、新潟県看護協会、日本助産師会新潟県支部、全国保健師長会新潟県支部、新潟県学校保健会、新潟県社会福祉協議会、新潟市社会福祉協議会、新潟県社会福祉士会、新潟県精神保健福祉士会、新潟県臨床心理士会、新潟県医療ソーシャルワーカー協会、新潟県介護福祉士会、新潟日報社、BSN新潟放送

第3回 新潟青陵学会 学術集会事務局

〒951-8121 新潟市中央区水道町1丁目5939番地

TEL:025-266-0127(代表)

FAX:025-267-0053

E-mail:2010conf@n-seiryu.ac.jp

ホームページ:<http://www.n-seiryu.ac.jp/gakkai/>

問い合わせ受付時間:8:30~17:30(土日祝日・休業日は除く)

申込み
・
問い合わせ

10:00~12:00 基調講演

「^{いのち}こころは生命の尊厳を伝える」

皆藤 章（京都大学 教育学研究科 臨床実践指導学講座 教授・臨床心理士）

13:15~14:30 一般演題（ポスターセッション）

13:15~14:30 ワークショップ

「明日から使える臨床技術-褥瘡予防のための体圧分散方法-」

講 師：西片 一臣（新潟青陵大学認定看護師研修センター 専任講師）

佐野 幸子（新潟青陵大学認定看護師研修センター 非常勤講師）

14:40~17:00 シンポジウム

「臨床・福祉事例を支える研究業績の利用と構築について」

司 会：橋 玲子（新潟青陵大学臨床心理学研究科 教授）

シンポジスト：柏木 夕香（新潟県立がんセンター新潟病院 専門看護師）

服部 潤吉（新潟青陵大学福祉心理学科 准教授）

横山 知行（新潟大学教育学部教育科学講座 教授）

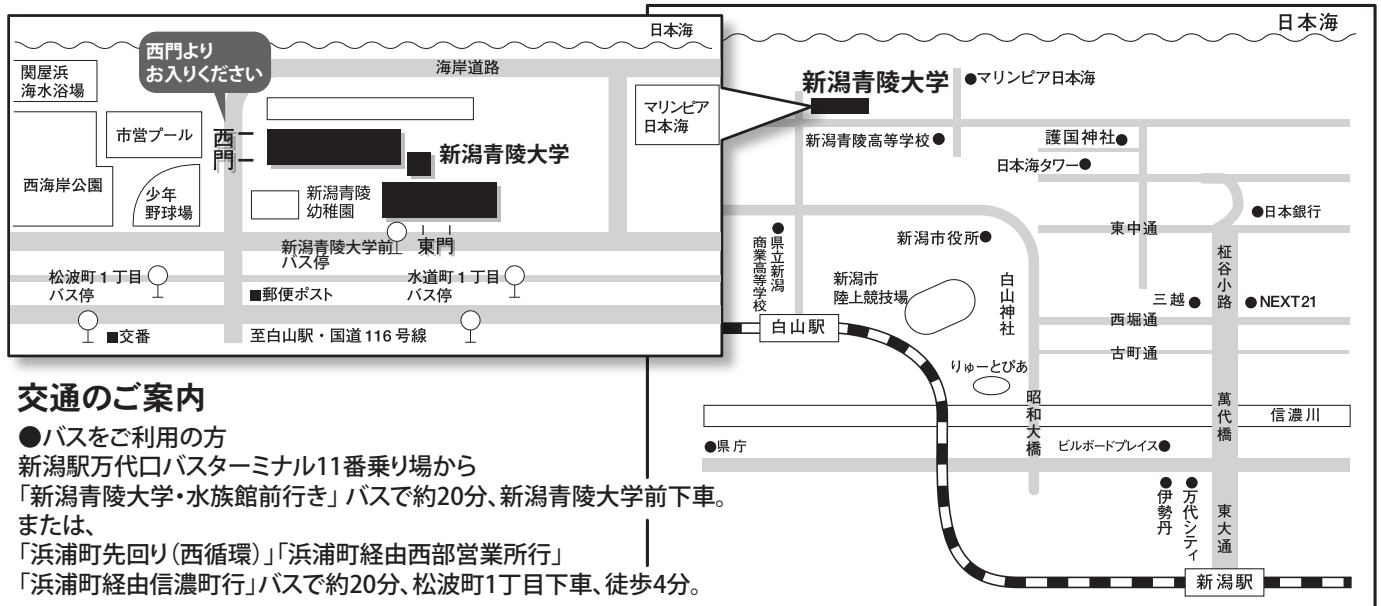
指定討論者：皆藤 章（京都大学教育学研究科 教授）

中村 悦子（新潟青陵大学看護学科 教授）

会 場 / 交通アクセス

新潟青陵大学

（会場には駐車場の用意がございません。公共交通機関をご利用ください。）



交通のご案内

●バスをご利用の方

新潟駅万代口バスターミナル11番乗り場から
「新潟青陵大学・水族館前行き」バスで約20分、新潟青陵大学前下車。

または、

「浜浦町先回り（西循環）」「浜浦町経由西部営業所行」

「浜浦町経由信濃町行」バスで約20分、松波町1丁目下車、徒歩4分。

●JRをご利用の方

JR 越後線白山駅下車、徒歩15分。

申込み方法／問い合わせ先

※参加をご希望の方は、**10月8日(金)**までに、①～⑤の内容を明記の上、下記のメールアドレス宛にお申込み下さい。FAXまたは郵送でも受け付けております。

尚、一般演題発表申込をご希望の方は、**8月31日(火)**までにお申込み下さい。

①氏名 ②所属 ③参加区分(学会員 / 非学会員 / 学生・院生)

④連絡先(住所・電話番号・メールアドレス) ⑤一般演題発表申込の有無(希望する / 希望しない)

宛 先 **新潟青陵学会・第3回学術集會事務局**

郵送先 〒951-8121 新潟市中央区水道町1-5939

T E L (025) 266-0127(代表)

F A X (025) 267-0053

ホームページ <http://www.n-seiryō.ac.jp/gakkai/>

E-mail 2010conf@n-seiryō.ac.jp

問い合わせ受付時間 8:30 - 17:00(土日祝日・休業日は除く)

※ 個人情報の取り扱いについて

ご記入いただいた個人情報は、学術集會に関する
ことのために利用させていただきます。また、その情報は
本学会が責任をもって管理いたします。